ドライ・キャビ®

2017版

DRY-CABI®

取扱説明書

製品保証書付き

中湿度シリーズ　DD型

TDC-157-DD
TDC-297-DD
TDC-507-DD

低湿度シリーズ　PDX型

TDC-157-PDX
TDC-297-PDX
TDC-507-PDX

この度は「ドライ・キャビ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使い下さい。

・この取扱説明書の7ページに製品保証書がありますので、必要事項をご記入の上、大切に保管して下さい。
・ご購入いただきました製品の機種名および製造番号は、銘板シールに記載してあります（銘板シールは本体内部の左側面下部に貼り付けてあります）。

	ページ
付属品	1
安全上のご注意 安全にお使いいただくために必ずお読み下さい	2
各部の名称	3
本体の設置の仕方	3
「ドライ・キャビ」の正しい使い方	3-4-5
故障かな？と思った時は	6
仕　様	6
ドライ・ユニットの外し方	7
保証修理規定	7
製品保証書	7

付属品

DRY-CABI®

お使いになる前に、製品の破損、損傷がないかをご確認下さい。万が一、破損や損傷のあった場合は直ちにご購入店にご連絡下さい。
梱包材は、破損、損傷のないこと、およびテスト運転の完了を確認するまで捨てないで下さい。
下記の付属品に不足がないかをご確認下さい。

	TDC-157-DD TDC-157-PDX	TDC-297-DD TDC-297-PDX	TDC-507-DD TDC-507-PDX
棚板/フック	3／12	3／12	3／12
キー	2	2	2
キャスター	＊取付可（オプション）	＊取付可（オプション）	＊取付可（オプション）
取扱説明書(本書)	1	1	1
ご愛用者カード	1	1	1

＊キャスターの取付方法は3頁参照

安全上のご注意－安全にお使いいただくために必ずお読み下さい

誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を区分して説明しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告	誤った使い方をすると、死亡や重傷を負うおそれのある内容です
⚠ 注意	誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財の損傷を生じるおそれのある内容です

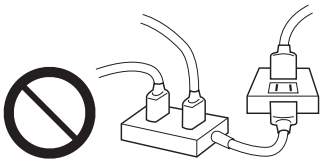
- 🚫 してはいけない内容です
- ❗ 必ずして下さいという内容です
- 電源プラグをコンセントから抜いて下さい
- 絶対に濡れた手で触れないで下さい
- 分解・改造をしないで下さい

⚠ 警告

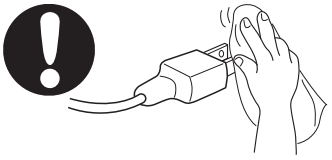
異常があった時は直ちに電源プラグを抜く
- こげ臭い匂いがする
- 電源プラグが異常に熱い
- ドライユニットが異常に熱い
- 異常な音がする
- ドライユニットに水や異物が入った

電源プラグを抜く

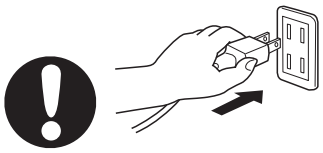
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外の電源は使用しない



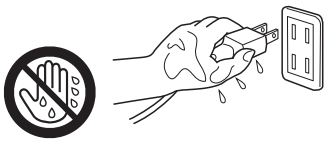
電源プラグと差込口にはホコリが溜まるので、定期的に清掃する



電源プラグは根元まで確実に差し込む



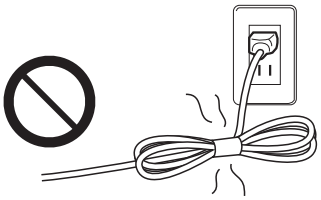
濡れた手で電源プラグを差し込んだり、抜いたりしない



ぬれ手禁止

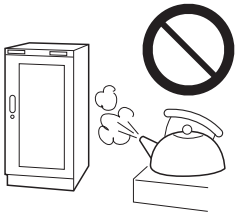
電源コードを傷つけない、加工しない、引っ張らない、物を載せたりしない

電源コードを束ねて使用しない



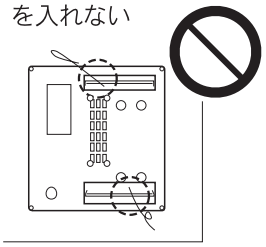
本体の上に乗らない、上に重い物を載せない、水の入った容器を置かない

水のかかる所や湿気の多い所に置かない



可燃性のある物や危険物、水は入れない

吸気口や排気口に異物を入れない

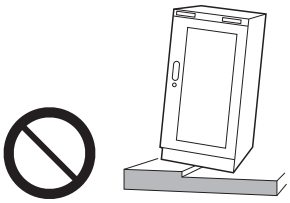


分解、改造をしない

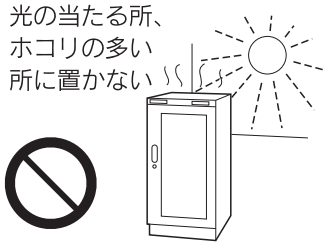
分解禁止

⚠ 注意

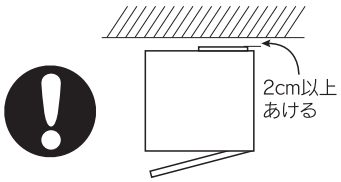
本体を不安定な所に置かない



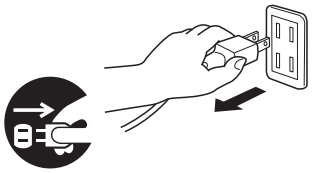
温度変化の激しい所、直射日光の当たる所、ホコリの多い所に置かない



本体の裏面には2cm以上の隙間を作る（放熱を妨げないため）



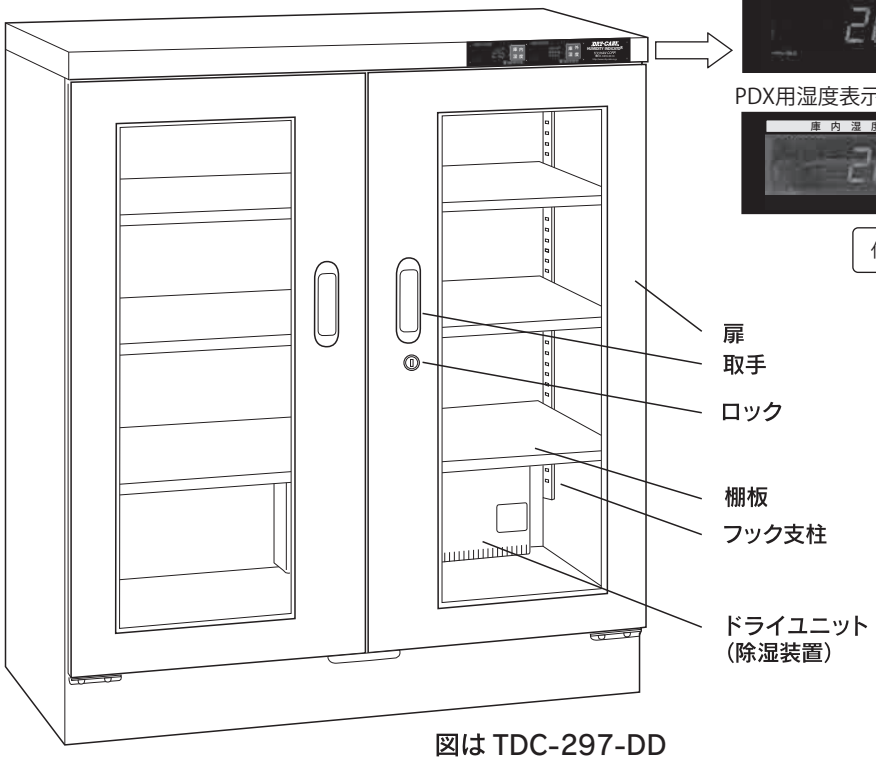
長期間使用しない時は電源プラグを抜く



プラグを抜く

各部の名称

各部の名称



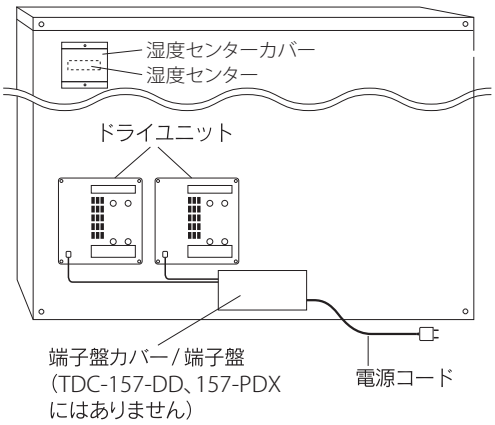
図は TDC-297-DD

DD用湿度表示パネル

PDX用湿度表示パネル

仕様	湿度表示：1～99%RH　±3%RH（25℃の時）　湿度設定：1%RH 湿度センサー：静電容量型　動作環境：0～80℃、最大湿度90%RH

背面



本体の設置の仕方

■ドライ・キャビは屋内の次のような場所に設置して下さい

・雨や風の当たらない所　・床が水平で丈夫な所、振動のない所　・冷暖房等の風が直接当たらない所
・急激な温度変化のない所　・直射日光の当たらない所　・湿気や水気のない所
・ホコリやチリ等の少ない所　・ガス等の発生のない所

■放熱のため本体後部の壁面との間に必ず2cm以上の隙間を開けて設置して下さい

■キャスター（オプション）を取り付ける時は、次の手順に従って下さい。

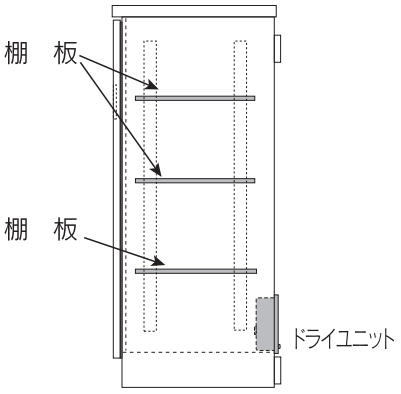
①床に毛布やクッション等を敷き、その上に正面（ガラス面）を上にして本体を横に寝かせます。
②キャスターはストッパー付き２ケとストッパーなし2ケで1組になっています。ストッパー付きキャスターを前側に、ストッパーなしを後側にして、しっかりとビスで固定して下さい。本体をゆっくりと起こします。

「ドライ・キャビ」の正しい使い方

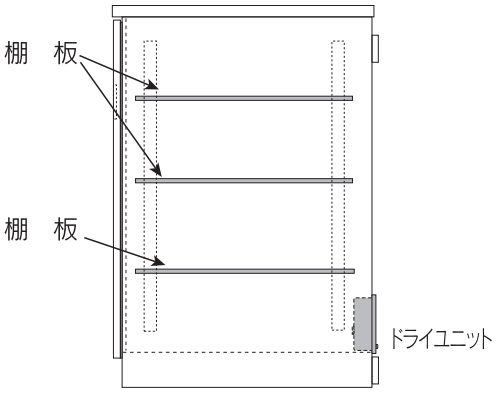
〔1〕棚板の取付方法

フック金具を四隅のフック支柱の任意のフック穴に差し込み、その上に棚板を載せて下さい。

297 側面図



507 側面図



「ドライ・キャビ」の正しい使い方（つづき）

〔2〕運転開始

①電源プラグを交流（ＡＣ）100Vのコンセントに差し込んで下さい。

■DDタイプの場合

・運転ランプが数回点滅し、その後点灯して運転を始めます。（ただし、庫内の湿度が調節器の設定湿度より初めから低い場合は運転しません）
・しばらくすると運転ランプが消えます。一定の間隔で点灯（30～40分/排出）と消灯（3時間30分～4時間/吸湿）を繰り返し、設定湿度まで除湿します。

■PDXタイプの場合

・PDXタイプのユニットには、ダイヤル及び運転ランプは搭載されていませんので、プラグを差し込むと運転が開始されます。
・デジタルコントローラで設定した湿度になるまで、吸湿（3時間30分～4時間）と排出（30～40分）を繰り返します。
（ただし、庫内の湿度が調節器の設定湿度より初めから低い場合は運転しません）

②湿度設定方法

■DDタイプの場合

庫内湿度調節器のダイヤルの位置が中湿度になっているかを確認して下さい。
（湿度調節器により過除湿を防止します）

※1 工場出荷時はダイヤルを「M」の位置にセットしてありますが、庫外の環境などにより、湿度が下がらない場合はダイヤルを低湿度側（右方向）に回してください。
（中湿度シリーズでは「M」位置でおおよそ40%RH±10%RHの範囲になります）

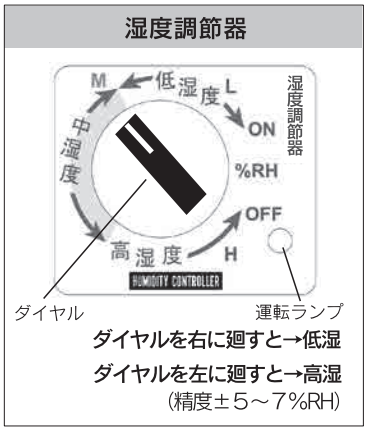
※2 湿度調節器は正確な湿度をコントロールするものではありません。

※3 加湿機能はついておりませんので、ダイヤルを左に回しても、加湿（湿度を上げる）は出来ません。

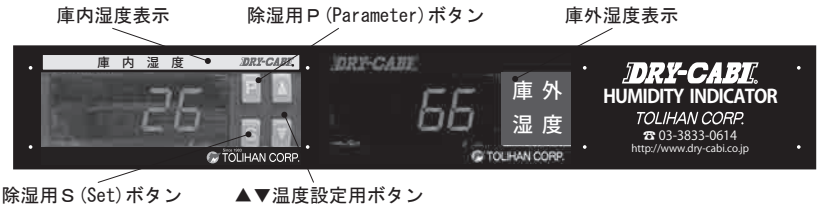
※4 エアコンから出される冷風や温風が直接あたる場所に設置すると、その影響により庫内湿度が不安定になることがあります。

※5 複数のドライユニットのダイヤルを全て同じ位置にしても、運転ランプの点灯と消灯の時間にズレが生じる場合があります。

DDタイプ湿度調節器



■PDXタイプの場合

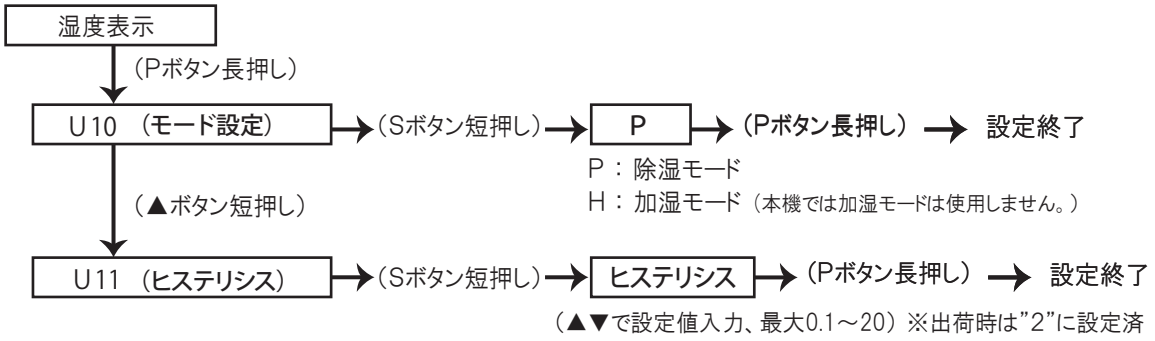


仕様
湿度表示：1～99%RH　±3%RH（25℃の時）
湿度設定：1%RH
湿度センサー：静電容量型
動作環境：0～80℃、最大湿度90%RH

●庫内湿度表示デジタルコントーラで、庫内湿度を設定します。

1.湿度設定方法
Ｓボタン長押し（3秒）すると湿度設定モードになります。
▲▼ボタンでご希望の湿度に設定し、Ｓボタン長押し（3秒）で湿度設定モードを終了します。

2.デジタル湿度コントローラ操作方法概要
Ｐボタンを長押し（３秒）で、設定モードに入る※出荷時に基本設定を行っておりますので、通常は変更の必要はありません。
設定モードフローチャート



「ドライ・キャビ」の正しい使い方（つづき）

③最初は品物を入れずに半日程度（約12時間）空運転してください。

・庫内湿度が下がったことを確認してから品物を入れます。

④品物を入れて下さい。

・品物の材質や量によって、一時的に庫内湿度が上がることがあります。湿度が下がって安定するまでに1～2日程度かかる場合があります。特に紙類、木材、衣類、皮革類等の湿気を含んだものを入れると、湿度が下がり安定するまでの時間が長くなります。

注1 周囲が低湿の時（例・30%以下）に湿度調節器を高湿（例・50%）にセットしても、加湿機能がありませんので、湿度（例・50%）は上がりません。

注2 付属の湿度計でドライ・キャビが常に正常に運転しているかどうかをご確認下さい。なお、すでにカビが発生している品物を収納した場合、そのカビが他の収納品に移るおそれがありますのでご注意下さい。〔本機には殺菌又はカビを除去する機能はありません。〕

〔3〕点検とお手入れ

①湿度計を見て確認して下さい

ドライ・キャビが正常に運転しているかどうかを 2～3日に1度は湿度計で点検して下さい。
ドライ・キャビ付属の湿度計も市販の湿度計（高価なものであっても）も、湿度の誤差は±5～7%RH位あります。市販のものは湿度60%RH位を基準につくられていますので、低湿度では誤差が大きくなります。庫内湿度の確認は、ドライ・キャビ用湿度計で行って下さい。

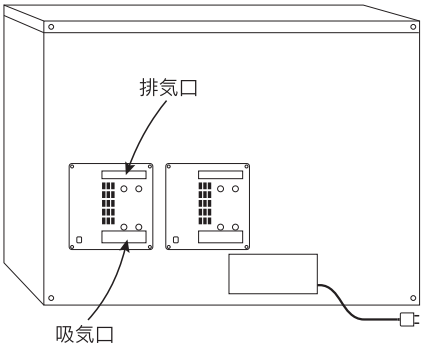
②電源コードとプラグを確認して下さい（漏電や発火のおそれがありますので、定期的に必ず点検して下さい）

・プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
・プラグが異常に熱くなっていませんか？→ 異常に熱い時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡ください。
・電源コードが擦り切れていたり、痛んでいませんか？→ 痛んでいる時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡ください。
・プラグにホコリが溜まっていませんか？→ 溜まっている時は、プラグをコンセントから抜いて掃除して下さい。

③ドライユニットを確認して下さい

（特にご購入後10年以上経過した場合は1ヶ月に1度は必ず点検して下さい）

・ドライユニットの背面の吸気口・排気口にホコリが溜まっていませんか？
　→ 溜まっている時は、電源プラグをコンセントから抜いて掃除して下さい。
・ドライユニット本体が変色していたり、異常に熱かったり、異常な臭いがありませんか？　→ 異常のある時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡下さい。



④本体が汚れた時は

・通常の汚れは化学雑巾またはやわらかい布で軽く拭き取って下さい。
・それでも取れない時は、家庭用中性洗剤を水で薄めてご使用下さい。
・洗剤を使用した後はよく拭き取って下さい。

〔4〕使用上のお願い

①収納品は各棚に均等に収納して下さい。上部に荷重がかかり過ぎると転倒する恐れがあります。充分ご注意下さい。（重い物は下部へ入れて下さい）
②ドライ・キャビ本体を２台積み重ねる場合は、必ず「連結金具」（オプション）を使用し、本体の裏側で上下２台を固定して下さい。さらに、２台積み重ねた場合は、特に、『転倒防止金具』『転倒防止耐震器具』（オプション）で本体を丈夫な壁等に固定し、転倒しないようにして下さい。１台の場合でも、地震等により転倒するおそれがあります。転倒防止金具等のご使用をおすすめします。
③庫内には爆発物等の危険な物や引火性のあるもの、水や液体等を入れないで下さい。また天板の上に水等を置かないで下さい。
④漏電防止、静電気対策のため、アースをとってお使い下さい。（アースは本体の裏面の任意のビス部に配線を取付けて下さい。）
⑤扉部の「ロック」は盗難防止用のロックではありません。盗難防止対策は別の方法で行って下さい。

memo

故障かな？　と思った時は…

こんな時は	ここを確かめて下さい	これが理由です・このようにして下さい	参照ページ
湿度計が表示されない（点かない）	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを差し込んで下さい。	
	ブレーカーが切れていませんか？	原因を調査してからブレーカーを入れて下さい。	
	停電ではありませんか？	復帰までお待ちください。	
運転ランプが点かない（DDタイプのみ）	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを差し込んで下さい。	
	ブレーカーが切れていませんか？	原因を調査してからブレーカーを入れて下さい。	
	停電ではありませんか？	復帰までお待ちください。	
	ドライユニットが吸湿中ではありませんか？	ドライユニットが庫内の湿気を吸湿している時は運転ランプは点きません。	4ページ
	湿度が設定湿度まで下がっていませんか？	庫内湿度が設定値まで下がると運転ランプは消え、湿度が上がると再び点きます。	4ページ
	湿度設定が高湿度になっていませんか？	湿度設定を低湿度にして下さい。	4ページ
運転ランプが点滅する（DDタイプのみ）	電源を入れた直後ではありませんか？	電源コードをコンセントに差し込んだ直後は運転ランプが数回点滅します。	4ページ
湿度が下らない	湿度設定が高湿度になっていませんか？	湿度設定を低湿度にして下さい。	4ページ
	品物を入れた直後ではないですか？	品物をいれた直後は一時的に庫内湿度が上昇します。	5ページ
	湿気のある品物を入れていませんか？（紙類、木材、衣類、皮革類等）	湿気を含む品物を入れた時は、湿度が下がりにくくなります。湿度設定を低湿度にしてしばらく様子を見て下さい。	5ページ
	品物を大量に入れていませんか？	一時的に庫内湿度が下がりにくくなります。	
	棚板と側面の隙間を塞いでいませんか？	隙間が塞がれると空気の循環が悪くなり、湿度が下がりにくくなります。隙間を開けて下さい。	
	扉の開閉が多くありませんか？ 開閉時間が長くありませんか？	ひんぱんに扉を開けたり、開閉時間を長く取ると湿気が庫内に入り込みます。開閉の回数を減らしたり、開閉時間を短くして下さい。	
	扉がきちんと閉まっていますか？	扉をきちんと閉めて下さい。	
湿度が下がり過ぎる	湿度設定が低湿度になっていませんか？	湿度を高湿度に設定し、扉をしばらく開放して下さい。	5ページ
	お部屋の湿度が低くありませんか？	冬期は空気が乾燥し、設定湿度よりお部屋の湿度が低くなることがあります。この時は電源を切って下さい。	
湿度の変動が大きい	エアコンの風が直接当たる場所や温度変化の大きいお部屋に置いていませんか？	温度変化の大きい場所に置くと、密閉状態であっても庫内湿度が変化することがあります。温度変化の少ない場所に移動して下さい。	4ページ

上記の事項をご確認しても状況が改善されない場合は当社サービス課まで修理をお申し付け下さい。
修理をする場合は、6頁の「ドライユニットの外し方」によりドライユニットを本体から取り外し、当社までお送り下さい。

仕　　様

機　種		TDC-157-DD TDC-157-PDX	TDC-297-DD TDC-297-PDX	TDC-507-DD TDC-507-PDX
外　寸 mm		440×448×988	880×448×988	880×710×988
内　寸 mm		438×390×850	878×390×850	878×650×850
有効内容量 ℓ		145	291	485
重　量 kg	DD	25	51	67
	PDX	26	52	68
本体材質		スチール、メラミン焼付塗装(シルバーメタリック)		
棚板材質		スチール、メラミン焼付塗装(シルバーメタリック)		
扉		スチール・ガラス窓、マグネットパッキン付		
除湿方式		デジタル式デュアル湿度計（PDXのみ湿度設定用デジタルコントローラ付）		
湿度計		乾燥剤方式		
電源		AC100V（50/60Hz）		
消費電力	DD	0~3.6W（MAX120W）	0~7.2W（MAX240W）	0~10.8W（MAX360W）
	PDX	0~7W（MAX220W）	0~14W（MAX220W）	0~21W（MAX440W）

寸法はW（幅）×D（奥行き）×H（高さ）の順に表示しています。

ドライユニットの外し方

DRY-CABI

※コンセントからプラグを抜いて作業して下さい。

❶ 扉を開け、ドライユニットの右側にあるコネクターを抜きます。

❷ 本体背面の端子盤カバーを外します。

❸ 端子盤カバーを外すと、端子盤があります。端子盤のビスをゆるめて、ドライユニットのコードを引き抜きます。

❹ ドライユニットの四隅のビスを外し、ドライユニットを本体から取り外します。

❺ 破損しないようにダンボール等でしっかり梱包して、郵便小包でお送り下さい。
※通常は到着後1週間位で修理し、ご返送致します。

❻ 修理完了後のドライユニットは、元通りにつけて下さい。

❼ 取付後「ドライ・キャビの正しい使い方」に準じてご利用下さい。収納物を入れたままテストの時は湿度が安定するまで2日程様子をみて下さい。

＊1 TDC-157-DD、TDC-157-PDXはドライユニットが1個なので、端子盤を使用していません。❷ ❸ を省略します。

＊2 ご不明な点は当社までお問合せ下さい。

保証修理規定

DRY-CABI

1. 使用状態が正常にもかかわらず、保証期間内に製品に不具合が生じた場合は、製品保証書を添付の上、販売店または当社に修理をお申し付け下さい。無料修理いたします。
2. 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となりますのでご了承下さい。
   ①使用上の誤り、不当な修理・改造による故障および損傷。
   ②接続した他の機器から障害を受けた場合。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧、指定外の電源使用による故障および損傷。
   ④特殊な環境での使用による故障および損傷。
   ⑤消耗品の交換。
   ⑥設置場所の移動や運搬中の事故等による故障および損傷。
   ⑦保証書の提示のない場合。
   ⑧保証書にお買い上げ年月日、機種名、お客様名、販売店などの必要事項の記入のない場合、または故意に字句を書き換えられた場合。
   ⑨修理はほとんどの場合、ドライユニットや湿度計等の部品を外して当社にお送りいただくことになります。
   ただし、お客様のご要望により出張修理を行う場合は出張料金等がかかります。
3. この製品保証書は、日本国内においてのみ有効です。
4. この製品保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。
5. その他
   ①保証期間経過後は有料修理とさせていただきます。
   ②保証期間の内外にかかわらず、収納品に損傷、変質、劣化、故障等の発生した場合、その責を負いかねますので予めご了承下さい。

製品保証書

DRY-CABI

・製品保証書に必要事項をご記入下さい。また、販売店の捺印がない場合は領収書（または商品名、お買い上げ日等の証明可能な書類）を貼り付けておいて下さい。
・機種名および製造番号は、銘板シールに記載してあります（銘板シールは本体内部の左側面下部に貼り付けてあります）。

「ドライ・キャビ」製品保証書

商品名　ドライ・キャビ		
機種名	製造番号	
お客様	お名前　　様	
	ご住所	
	お電話番号　（　　）	
お買い上げ日　（西暦）　　年　　月　　日		
保証期間（お買い上げ日より）　3年		

下記の販売店欄に捺印のない場合は、ここに領収書（レシート）を貼り付けて下さい

販売店（捺印）

店　名

住　所

電話番号　（　　）

DRY-CABI®

トーリ・ハン株式会社
Since1983
〒110-0015 東京都台東区 東上野3－21－6
TEL 03－3833－0614　FAX 03－3833－0616
http://www.dry-cabi.co.jp
E-mail:info@dry-cabi.co.jp

ドライ・キャビ®

2017 版

DRY-CABI®

取扱説明書

製品保証書付き

中湿度シリーズ　DD型

TDC-907-DD
TDC-1307-DD
TDC-1407-DD

低湿度シリーズ　PDX型

TDC-157-PDX
TDC-1307-PDX
TDC-1407-PDX

この度は「ドライ・キャビ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使い下さい。

・この取扱説明書の7ページに製品保証書がありますので、必要事項をご記入の上、大切に保管して下さい。
・ご購入いただきました製品の機種名および製造番号は、銘板シールに記載してあります（銘板シールは本体内部の左側面下部に貼り付けてあります）。

	ページ
付属品	1
安全上のご注意 安全にお使いいただくために必ずお読み下さい	2
各部の名称	3
本体の設置の仕方	3
「ドライ・キャビ」の正しい使い方	3-4-5
故障かな？と思った時は	6
仕　様	6
ドライ・ユニットの外し方	7
保証修理規定	7
製品保証書	7

付属品

DRY-CABI®

お使いになる前に、製品の破損、損傷がないかをご確認下さい。万が一、破損や損傷のあった場合は直ちにご購入店にご連絡下さい。
梱包材は、破損、損傷のないこと、およびテスト運転の完了を確認するまで捨てないで下さい。
下記の付属品に不足がないかをご確認下さい。

	TDC-907-DD TDC-907-PDX	TDC-1307-DD TDC-1307-PDX	TDC-1407-DD TDC-1407-PDX
棚板/フック	3／6	5／10	5／10
キー	2	2	2
キャスター	4（標準装備）	4（標準装備）	4（標準装備）
取扱説明書(本書)	1	1	1
ご愛用者カード	1	1	1

安全上のご注意－安全にお使いいただくために必ずお読み下さい

誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を区分して説明しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⚠ 警告	誤った使い方をすると、死亡や重傷を負うおそれのある内容です
⚠ 注意	誤った使い方をすると、怪我をしたり、家財の損傷を生じるおそれのある内容です

- してはいけない内容です
- 必ずして下さいという内容です
- 電源プラグをコンセントから抜いて下さい
- 絶対に濡れた手で触れないで下さい
- 分解・改造をしないで下さい

⚠ 警告

異常があった時は直ちに電源プラグを抜く
- こげ臭い匂いがする
- 電源プラグが異常に熱い
- ドライユニットが異常に熱い
- 異常な音がする
- ドライユニットに水や異物が入った

電源プラグを抜く

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外の電源は使用しない

電源プラグと差込口にはホコリが溜まるので、定期的に清掃する

電源プラグは根元まで確実に差し込む

濡れた手で電源プラグを差し込んだり、抜いたりしない

ぬれ手禁止

電源コードを傷つけない、加工しない、引っ張らない、物を載せたりしない

電源コードを束ねて使用しない

本体の上に乗らない、上に重い物を載せない、水の入った容器を置かない

水のかかる所や湿気の多い所に置かない

可燃性のある物や危険物、水は入れない

吸気口や排気口に異物を入れない

分解、改造をしない

分解禁止

⚠ 注意

本体を不安定な所に置かない

温度変化の激しい所、直射日光の当たる所、ホコリの多い所に置かない

本体の裏面には2cm以上の隙間を作る（放熱を妨げないため）

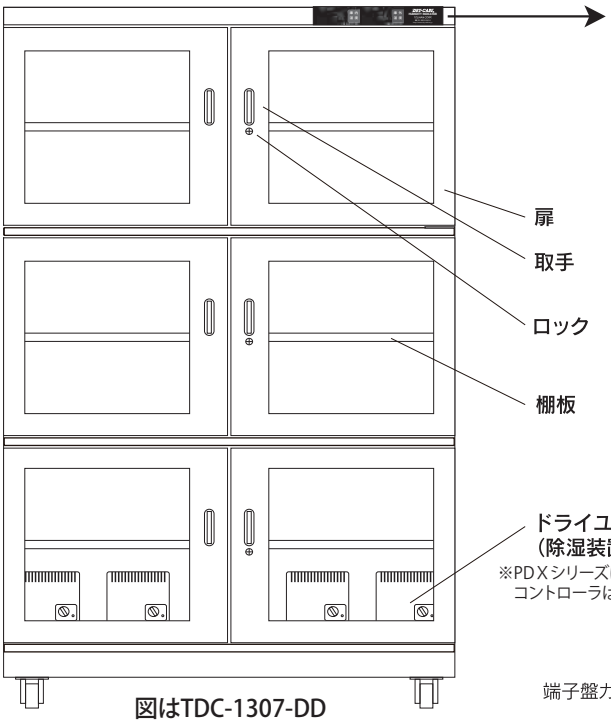
2cm以上あける

長期間使用しない時は電源プラグを抜く

プラグを抜く

各部の名称

各部の名称

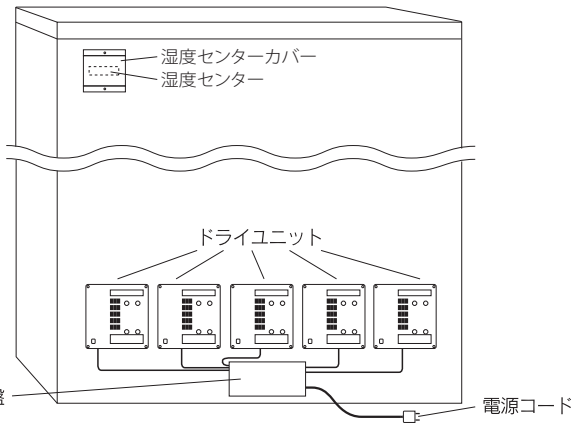


DD用湿度表示パネル

PDX用湿度表示パネル

仕様　湿度表示：1～99%RH　±3%RH（25℃の時）　湿度設定：1%RH
湿度センサー：静電容量型　動作環境：0～80℃、最大湿度90%RH

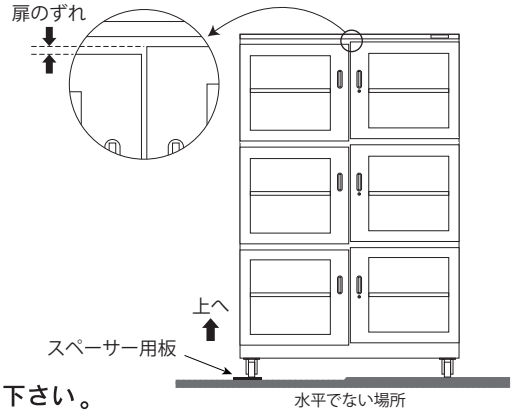
背面



本体の設置の仕方

■水平な場所かつ本体の重量に耐えられる場所に設置して下さい。

水平のように見えても設置場所に凹凸がある場合があります。その場合、扉がずれる可能性がありますので、本体またはキャスターの下に付属のスペーサー用板を挟み、ずれを調整して下さい。



■ドライ・キャビは屋内の次のような場所に設置して下さい。

- 雨や風の当たらない所
- 冷暖房等の風が直接当たらない所
- 直射日光の当たらない所
- ホコリやチリ等の少ない所
- 床が水平で丈夫な所、振動のない所
- 急激な温度変化のない所
- 湿気や水気のない所
- ガス等の発生のない所

■放熱のため本体後部の壁面との間に必ず2cm以上の隙間を開けて設置して下さい。

■キャスターの取り外し（取付）の時は次の手順に従って下さい。

①床に毛布やクッション等を敷き、その上に正面(ガラス面)を上にして本体を横に寝かせます。
②キャスターのビスを外し、本体から取り外してください。
また、取り付ける際は、ストッパーがあるキャスター2ケを前側に、ストッパーなし2ケを後側にして、しっかりビスで固定して下さい。

「ドライ・キャビ」の正しい使い方

〔1〕棚板

棚板は、輸送中の安全のために、本体に固定金具で固定してあります。
固定してある棚板は、そのままご使用いただくか、固定金具を取り外してご利用下さい。
（右写真参照）

㊟棚板を外す時は、重いので、
気を付けて二人で作業して下さい。

※この写真のように、輸送中の安全確保のため、
棚板は本体に固定金具で固定してあります。

「ドライ・キャビ」の正しい使い方（つづき）

〔2〕運転開始

1 電源プラグを交流（ＡＣ）100Vのコンセントに差し込んで下さい。

■DDタイプの場合

・運転ランプが数回点滅し、その後点灯して運転を始めます。（ただし、庫内の湿度が調節器の設定湿度より初めから低い場合は運転しません）
・しばらくすると運転ランプが消えます。一定の間隔で点灯（30～40分/排出）と消灯（3時間30分～4時間/吸湿）を繰り返し、設定湿度まで除湿します。

■PDXタイプの場合

・PDXタイプのユニットには、ダイヤル及び運転ランプは搭載されていませんので、プラグを差し込むと運転が開始されます。
・デジタルコントローラで設定した湿度になるまで、吸湿（3時間30分～4時間）と排出（30～40分）を繰り返します。
（ただし、庫内の湿度が調節器の設定湿度より初めから低い場合は運転しません）

2 湿度設定方法

■DDタイプの場合

庫内湿度調節器のダイヤルの位置が中湿度になっているかを確認して下さい。
（湿度調節器により過除湿を防止します）

※1 工場出荷時はダイヤルを「M」の位置にセットしてありますが、庫外の環境などにより、湿度が下がらない場合はダイヤルを低湿度側（右方向）に回してください。
（中湿度シリーズでは「M」位置でおおよそ40%RH±10%RHの範囲になります）

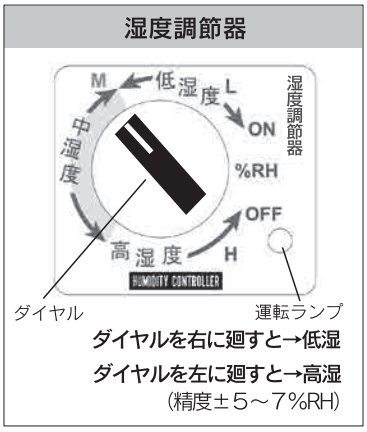
※2 湿度調節器は正確な湿度をコントロールするものではありません。

※3 加湿機能はついておりませんので、ダイヤルを左に回しても、加湿（湿度を上げる）は出来ません。

※4 エアコンから出される冷風や温風が直接あたる場所に設置すると、その影響により庫内湿度が不安定になることがあります。

※5 複数のドライユニットのダイヤルを全て同じ位置にしても、運転ランプの点灯と消灯の時間にズレが生じる場合があります。

DDタイプ湿度調節器



■PDXタイプの場合

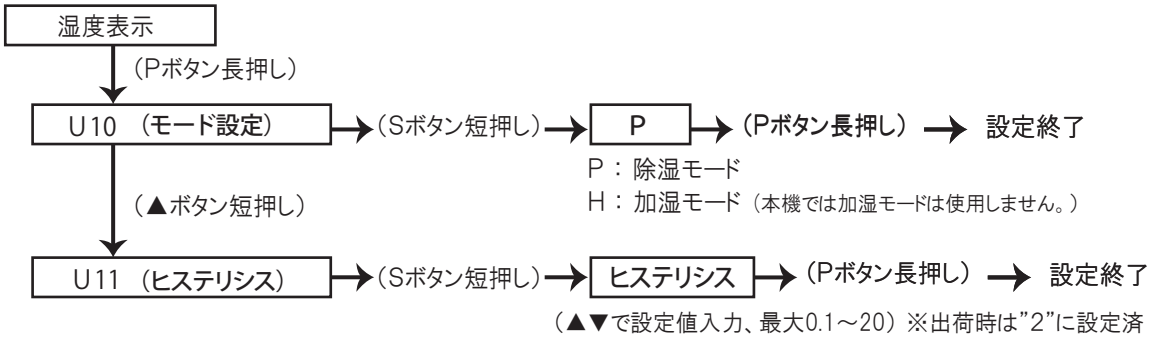
仕様
湿度表示：1～99%RH　±3%RH（25℃の時）
湿度設定：1%RH
湿度センサー：静電容量型
動作環境：0～80℃、最大湿度90%RH

●庫内湿度表示デジタルコントーラで、庫内湿度を設定します。

1.湿度設定方法
Ｓボタン長押し（3秒）すると湿度設定モードになります。
▲▼ボタンでご希望の湿度に設定し、Ｓボタン長押し（3秒）で湿度設定モードを終了します。

2.デジタル湿度コントローラ操作方法概要
Ｐボタンを長押し（３秒）で、設定モードに入る※出荷時に基本設定を行っておりますので、通常は変更の必要はありません。

設定モードフローチャート



「ドライ・キャビ」の正しい使い方（つづき）

3 最初は品物を入れずに半日程度（約12時間）空運転してください。
・庫内湿度が下がったことを確認してから品物を入れます。

4 品物を入れて下さい。
・品物の材質や量によって、一時的に庫内湿度が上がることがあります。湿度が下がって安定するまでに1～2日程度かかる場合があります。特に紙類、木材、衣類、皮革類等の湿気を含んだものを入れると、湿度が下がり安定するまでの時間が長くなります。

注1 周囲が低湿の時（例・30%以下）に湿度調節器を高湿（例・50%）にセットしても、加湿機能がありませんので、湿度（例・50%）は上がりません。

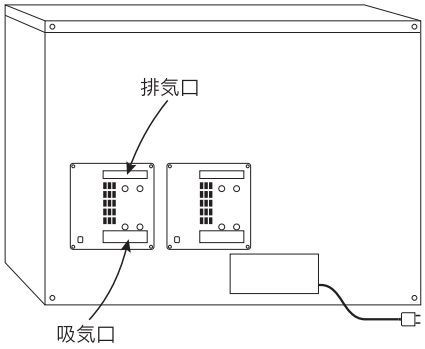
注2 付属の湿度計でドライ・キャビが常に正常に運転しているかどうかをご確認下さい。なお、すでにカビが発生している品物を収納した場合、そのカビが他の収納品に移るおそれがありますのでご注意下さい。〔本機には殺菌又はカビを除去する機能はありません。〕

〔3〕点検とお手入れ

①湿度計を見て確認して下さい
ドライ・キャビが正常に運転しているかどうかを 2～3日に1度は湿度計で点検して下さい。
ドライ・キャビ付属の湿度計も市販の湿度計（高価なものであっても）も、湿度の誤差は±5～7%RH位あります。市販のものは湿度60%RH位を基準につくられていますので、低湿度では誤差が大きくなります。庫内湿度の確認は、ドライ・キャビ用湿度計で行って下さい。

②電源コードとプラグを確認して下さい（漏電や発火のおそれがありますので、定期的に必ず点検して下さい）
・プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
・プラグが異常に熱くなっていませんか？→ 異常に熱い時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡ください。
・電源コードが擦り切れていたり、痛んでいませんか？→ 痛んでいる時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡ください。
・プラグにホコリが溜まっていませんか？→ 溜まっている時は、プラグをコンセントから抜いて掃除して下さい。

③ドライユニットを確認して下さい
（特にご購入後10年以上経過した場合は1ヶ月に1度は必ず点検して下さい）
・ドライユニットの背面の吸気口・排気口にホコリが溜まっていませんか？
→ 溜まっている時は、電源プラグをコンセントから抜いて掃除して下さい。
・ドライユニット本体が変色していたり、異常に熱かったり、異常な臭いがありませんか？ → 異常のある時は、直ちに使用を止めて当社までご連絡下さい。



④本体が汚れた時は
・通常の汚れは化学雑巾またはやわらかい布で軽く拭き取って下さい。
・それでも取れない時は、家庭用中性洗剤を水で薄めてご使用下さい。
・洗剤を使用した後はよく拭き取って下さい。

〔4〕使用上のお願い

①収納品は各棚に均等に収納して下さい。上部に荷重がかかり過ぎると転倒する恐れがあります。充分ご注意下さい。（重い物は下部へ入れて下さい）
②地震等により転倒するおそれがあります。転倒防止金具等のご使用をおすすめします。
③庫内には爆発物等の危険な物や引火性のあるもの、水や液体等を入れないで下さい。また天板の上に水等を置かないで下さい。
④漏電防止、静電気対策のため、アースをとってお使い下さい。（アースは本体の裏面の任意のビス部に配線を取付けて下さい。）
⑤扉部の「ロック」は盗難防止用のロックではありません。盗難防止対策は別の方法で行って下さい。

memo

故障かな？　と思った時は…

こんな時は	ここを確かめて下さい	これが理由です・このようにして下さい	参照ページ
湿度計が表示されない（点かない）	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを差し込んで下さい。	
	ブレーカーが切れていませんか？	原因を調査してからブレーカーを入れて下さい。	
	停電ではありませんか？	復帰までお待ちください。	
運転ランプが点かない（DDタイプのみ）	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグを差し込んで下さい。	
	ブレーカーが切れていませんか？	原因を調査してからブレーカーを入れて下さい。	
	停電ではありませんか？	復帰までお待ちください。	
	ドライユニットが吸湿中ではありませんか？	ドライユニットが庫内の湿気を吸湿している時は運転ランプは点きません。	4ページ
	湿度が設定湿度まで下がっていませんか？	庫内湿度が設定値まで下がると運転ランプは消え、湿度が上がると再び点きます。	4ページ
	湿度設定が高湿度になっていませんか？	湿度設定を低湿度にして下さい。	4ページ
運転ランプが点滅する（DDタイプのみ）	電源を入れた直後ではありませんか？	電源コードをコンセントに差し込んだ直後は運転ランプが数回点滅します。	4ページ
湿度が下らない	湿度設定が高湿度になっていませんか？	湿度設定を低湿度にして下さい。	4ページ
	品物を入れた直後ではないですか？	品物をいれた直後は一時的に庫内湿度が上昇します。	5ページ
	湿気のある品物を入れていませんか？（紙類、木材、衣類、皮革類等）	湿気を含む品物を入れた時は、湿度が下がりにくくなります。湿度設定を低湿度にしてしばらく様子を見て下さい。	5ページ
	品物を大量に入れていませんか？	一時的に庫内湿度が下がりにくくなります。	
	棚板と側面の隙間を塞いでいませんか？	隙間が塞がれると空気の循環が悪くなり、湿度が下がりにくくなります。隙間を開けて下さい。	
	扉の開閉が多くありませんか？ 開閉時間が長くありませんか？	ひんぱんに扉を開けたり、開閉時間を長く取ると湿気が庫内に入り込みます。開閉の回数を減らしたり、開閉時間を短くして下さい。	
	扉がきちんと閉まっていますか？	扉をきちんと閉めて下さい。	
湿度が下がり過ぎる	湿度設定が低湿度になっていませんか？	湿度を高湿度に設定し、扉をしばらく開放して下さい。	5ページ
	お部屋の湿度が低くありませんか？	冬期は空気が乾燥し、設定湿度よりお部屋の湿度が低くなることがあります。この時は電源を切って下さい。	
湿度の変動が大きい	エアコンの風が直接当たる場所や温度変化の大きいお部屋に置いていませんか？	温度変化の大きい場所に置くと、密閉状態であっても庫内湿度が変化することがあります。温度変化の少ない場所に移動して下さい。	4ページ

上記の事項をご確認しても状況が改善されない場合は当社サービス課まで修理をお申し付け下さい。
修理をする場合は、6頁の「ドライユニットの外し方」によりドライユニットを本体から取り外し、当社までお送り下さい。

仕　　様

機　種		TDC-907-DD TDC-907-PDX	TDC-1307-DD TDC-1307-PDX	TDC-1407-DD TDC-1407-PDX
外　寸 mm		1200×710×1290	1200×710×1830	1200×710×1830
内　寸 mm		1198×650×1075	1198×650×1620	1198×650×1620
有効内容量 ℓ		837	1261	1261
重　量 kg	DD	140	220	220
	PDX	140	220	220
本体材質		スチール、メラミン焼付塗装(シルバーメタリック)		
棚板材質		スチール、メラミン焼付塗装(シルバーメタリック)		
扉		スチール・ガラス窓、マグネットパッキン付		
除湿方式		デジタル式デュアル湿度計（PDXのみ湿度設定用デジタルコントローラ付）		
湿度計		乾燥剤方式		
電源		AC100V（50/60Hz）		
消費電力	DD	0~14.4W（MAX480W）	0~18W（MAX600W）	0~18W（MAX600W）
	PDX	0~35W（MAX654W）	0~56W（MAX872W）	0~56W（MAX872W）

寸法はW（幅）×D（奥行き）×H（高さ）の順に表示しています。

ドライユニットの外し方

❶ 扉を開け、ドライユニットの右側にあるコネクターを抜きます。

❷ 本体背面の端子盤カバーを外します。

❸ 端子盤カバーを外すと、端子盤があります。端子盤のビスをゆるめて、ドライユニットのコードを引き抜きます。

❹ ドライユニットの四隅のビスを外し、ドライユニットを本体から取り外します。

❺ 破損しないようにダンボール等でしっかり梱包して、郵便小包でお送り下さい。
※通常は到着後1週間位で修理し、ご返送致します。

❻ 修理完了後のドライユニットは、元通りにつけて下さい。

❼ 取付後「ドライ・キャビの正しい使い方」に準じてご利用下さい。収納物を入れたままテストの時は湿度が安定するまで2日程様子をみて下さい。

＊ご不明な点は当社までお問合せ下さい。

保証修理規定

1. 使用状態が正常にもかかわらず、保証期間内に製品に不具合が生じた場合は、製品保証書を添付の上、販売店または当社に修理をお申し付け下さい。無料修理いたします。
2. 保証期間内であっても、次の場合は有料修理となりますのでご了承下さい。
   ①使用上の誤り、不当な修理・改造による故障および損傷。
   ②接続した他の機器から障害を受けた場合。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、異常電圧、指定外の電源使用による故障および損傷。
   ④特殊な環境での使用による故障および損傷。
   ⑤消耗品の交換。
   ⑥設置場所の移動や運搬中の事故等による故障および損傷。
   ⑦保証書の提示のない場合。
   ⑧保証書にお買い上げ年月日、機種名、お客様名、販売店などの必要事項の記入のない場合、または故意に字句を書き換えられた場合。
   ⑨修理はほとんどの場合、ドライユニットや湿度計等の部品を外して当社にお送りいただくことになります。
   ただし、お客様のご要望により出張修理を行う場合は出張料金等がかかります。
3. この製品保証書は、日本国内においてのみ有効です。
4. この製品保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。
5. その他
   ①保証期間経過後は有料修理とさせていただきます。
   ②保証期間の内外にかかわらず、収納品に損傷、変質、劣化、故障等の発生した場合、その責を負いかねますので予めご了承下さい。

製品保証書

・製品保証書に必要事項をご記入下さい。また、販売店の捺印がない場合は領収書（または商品名、お買い上げ日等の証明可能な書類）を貼り付けておいて下さい。
・機種名および製造番号は、銘板シールに記載してあります（銘板シールは本体内部の左側面下部に貼り付けてあります）。

「ドライ・キャビ」製品保証書

商品名	ドライ・キャビ	
機種名		製造番号
お客様	お名前	様
	ご住所	
	お電話番号	（　　）
お買い上げ日	（西暦）　年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	3年	

下記の販売店欄に捺印のない場合は、ここに領収書（レシート）を貼り付けて下さい

販売店（捺印）

店　名

住　所

電話番号　（　　）

DRY-CABI®

トーリ・ハン株式会社
Since1983
〒110-0015 東京都台東区 東上野3－21－6
TEL 03－3833－0614　FAX 03－3833－0616
http://www.dry-cabi.co.jp
E-mail:info@dry-cabi.co.jp